

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ミッション

最新テクノロジーを確かな労働力に。製造業の生産性・効率性を改善し日本のモノづくり発展に貢献。

② 中長期の経営戦略

1. 営業強化と顧客単価最大化

新規顧客獲得営業の強化に加え、メキキバイトの複数ライン展開、カスタムHutzperAIの同一顧客複数回受注による顧客単価最大化に取り組む。

3. 競争優位性の強化

ハードウェア選定から生産設備・ロボット・PLCとのリアルタイム連携、導入後のIoTデータ蓄積とAI再学習を一気通貫で提供。特許取得済みの仕組みで高い参入障壁を構築。

2. サービス拡販と相乗効果

スキルパズル、ラクラグの拡販により継続的な収益を確保。同一顧客への複数サービス導入による相乗効果を発揮。

4. 工場全体の最適化へ拡大

検査・分析の一部工程自動化から製造工程・生産計画全体の最適化、最終的にはモノづくりサプライチェーン全体の最適化・持続化に貢献するサービスを目指す。

③ 対処すべき課題

① 収益基盤構築

- ・国内生産年齢人口が2020年の7,509万人から2070年には4,535万人に減少予測。
- ・78.0%の製造業事業者がDXに取り組む・検討・必要性を認識。外観検査自動化やデータ分析で製造業DX推進。
- ・営業体制強化により幅広い業界へのサービス展開を目指す。

② 開発体制の強化

- ・優秀な人材の確保と採用を積極的に実施。
- ・開発プロセスの継続的見直しと改善。
- ・社内ノウハウ共有と教育訓練で強固な開発体制を構築。

③ 内部管理と海外展開リスク

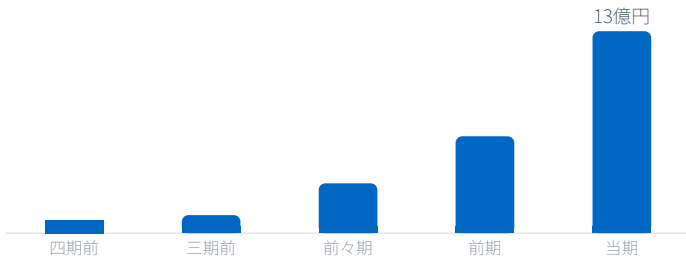
- ・効率的なオペレーション体制を基盤としコンプライアンス・内部統制充実を推進。
- ・海外展開時の政治情勢変化、自然災害、法規制変更への迅速な対応体制構築。

面接で使えるポイント

- ・AIを用いた外観検査自動化・データ分析で、人手不足に直面する製造業のDX推進に貢献。
- ・ハードウェア選定からAI導入・再学習まで一気通貫提供でき、他社との高い差別化を実現。
- ・2030年の製造DX市場は2023年比239.8%まで拡大予測。国内33万9千社の巨大市場で成長機会。

証券コード 478A

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
－（未開示）営業利益率
－（未開示）財務健康度
90点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 49.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
596万円

情報・通信業内 416位/592社

平均年齢
34.9歳

情報・通信業内 476位/593社

平均勤続
2.2年

情報・通信業内 579位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: フツパー、タイに駐在員事務所を開設——現地パートナーとともに

